

北海道ニセコ高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業クラブ3大事業への積極的な取り組みを促す。 (2) 個に応じたキャリア教育の充実を図る。 (3) 資格取得の充実	A	(1) 各行事に向け、学習会を充実させる。 (2) 地元産業現場と連携したキャリア教育を展開する。 (3) 各教科における資格取得を推進する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) ニセコ町が取り組むSDGs未来都市としての活動を学ぶ。 (2) グローバル人材育成教育の充実	A	(1) 学校内のSDGsの活動や、持続可能な観光の取り組みを農業クラブから町内へ発信する。また、自分たちが取り組める活動を学ぶ。 (2) 国際交流員による講話を実施し、国際感覚を養う。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地場産業を支える取り組み (2) 地域の主要農産物の栽培課題を発見し、解決に向けたプロジェクト学習の実施	B	(1) 地域農家、地域ホテルでの実習を実施する。 (2) JAようてい、地域農家、大学と連携し、サツマイモやブロッコリーの栽培課題解決に向けた栽培を実践する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域農家、有機ブドウ農家での視察実習と農業実習 (2) 地元6次産業との連携	A	(1) 年2～4回の農業実習への参加と視察実習を行い、ニセコにおける有機栽培の実践を学ぶ。 (2) 町花であるラベンダーを活用したルームスプレー・地域企業と連携して開発したジンなどを国内外の方々に提供する。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 小樽開発局と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2) エネルギー教育の充実	A	(1) 1年生を対象に年2回の特別講義を実施する。農地開発の現場視察と、環境に配慮した農地開発についての講義を行う。 (2) 町役場企画環境係と連携し、エネルギー教育を実施する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2) 国際交流員との食文化交流	A	(1) 地域の幼小中学校との交流学習を実施する。 (2) 中国・アメリカ・ヨーロッパからの国際交流員の方たちとの食文化交流授業を実施する。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを用いた学習	A	(1) 校舎内、学校圃場内のインターネット環境を整備し、ICTを用いた実習や調査を実施する。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 実習に関わる安全教育の徹底 (2) 実習中の災害への備え	A	(1) 実習服・帽子・長靴・軍手などの着用と怪我・熱中症対策、感染症対策を徹底する。 (2) 農場実習中の地震・原発事故への備えを徹底する。